

おち町

議会だより OCHI TOWN

No.95

2011年2月1日発行
高知県越知町議会

一つ一つ丹精込めて作られる冬の味覚「ひがしやま」

12月定例会

- 2P 一般会計補正1億9656万円
子宮頸がんワクチン助成や学校の窓ガラス補強など
- 5P TPP交渉参加は反対(意見書)
- 6P 春休みや冬休みの預かり保育を追加(条例改正)
- 7P 農業問題や少子化対策を6人が問う(一般質問)
- 13P 横畠小廃校反対の陳情を不採択(委員会報告)

平成22年12月定例会

一般会計補正1億
9656万円

子宮頸がんワクチン助成や小・中学校の窓ガラス補強など

12月定例会は、10日から14日までの会期で開き、22年度一般会計補正予算1億9656万円と各特別会計の補正予算4件、町税条例の一部改正など6件を全会一致で可決し、任期満了による教育委員に山中弘孝氏を任命することに全会一致で同意しました。

一般質問は6人が登壇し、農政や教育、少子化対策などについて執行者の考えをたきました。

によど川を有効に活用

カヌーや簡易ログハウスなどに960万円

総務費

職員や議員の期末手当を総額761万円減額。
高知市の大田博志・美恵夫妻からのふるさと寄付金60万円を基金へ積み立てる。
本の森図書館の耐震診断委託料など。

民生費

中学生までの医療費無料化に向けたシステム改修委託料。
子ども手当173万円。
介護保険特別会計への繰出金387万円など。

衛生費

子宮頸がんワクチン接種委託料に474万円。
稲村水道施設改修費など。

農林水産業費

J.A.ピーマン生産部会の設備更新補助金1706万円、有害鳥獣対策補助金54万円。
清水ため池修繕工事、林道京塚線舗装工事、林道小日浦線落石防護工事など。

商工費

カヌー、ラフティングボート、運搬用軽トラック、簡易ログハウスの購入に961万円。
商工会への補助金111万円など。

土木費

町道神線局部改良工事、町道大平線・鎌井田桑敷線・本村薬師堂線などの落石防護工事、その他待避所・ガードレール設置、側溝改修工事などに7349万円。
町営住宅修繕料、下水道特別会計への繰出金など。

消防費

稲村と片岡の消火栓移設工事。越知へリポート隣接の山林購入費と立木補償費など。

教育費

越知小・中学校の窓ガラスの補強や給食室改修などに3540万円。
中大平公民館への取り台合わせ道路工事。
韓国への中学生訪問中止による減額など。

12月補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	1億9656万円	43億8039万円	
特別会計	下水道	90万円	1億5663万円
	国民健康保険	3828万円	8億7957万円
	介護保険	3232万円	10億2250万円
企業会計(水道)	企業債(借金)での事業を自己資金で対応するための補正		

ふるさと寄付金

武智龍議員 3年間で

ふるさと寄付金をいただいた人数とお礼に町の特産品などを贈る考えはないか。

大原総務課長 大田夫妻

山崎夫妻、杉本氏の5人から続けていただいている。

広報紙に名前を載せ、礼状を送っているが、特産品などは贈っていない。

一般財源から過疎債(借金)に振り替え

岡林学議員 稚鮎放流

事業、廃止路線代替バス車両購入補助事業、有害鳥獣緊急対策事業を過疎債(借金)へ計上した説明を。

大原総務課長 いずれも

既決予算で、ソフト事業として新たに過疎債を充当できるものについて、一般財源の一部を過疎債に振り替えた。

清水ため池を修繕

藤原俊夫議員

清水ため

池修繕工事は、昨年も修繕したと思うが、今回の修繕の内容は。

小田産業建設課長

昨年

度は池の周囲を防水シートで覆ったが、底からの漏水があるため、底に防水シートを施工する。



清水ため池は地域の農業には欠かせない



仁淀川を活用して活性化を図る

カヌー運搬の軽トラック購入

斎藤政広議員

観光費の

軽トラック150万円ほどのようなものを買うのか。

小田企画課長

カヌーや

ラフティングボートを運ぶための車で、落下しないように棚状の装備をする。

越知へりポート隣接の山林を購入

斎藤政広議員

越知へり

ポートの隣接用地費と立木補償の内容は。

大原総務課長

南西面の

山林を約2000平方メートル購入し、管理しやすくする。所有者は2人。補償費は、購入予定面積が増えたための追加。

国際交流事業の中止

山橋正男議員

国際交流

事業が中止になった理由と23年度の予定は。

北添教育次長

諸般の事

情があり中止になった。23年度は、中学1、2年生を対象に希望者を募って韓国訪問を計画している。

準用保護援助費が増

西川晃議員

教育費の

準用保護生徒援助費の内容は。

北添教育次長

所得が少

ない家庭の子どもを支援するもので、28人の見込みが32人に増えた。

本の森図書館の耐震化

斎藤政広議員

図書館耐

震診断は役場前の施設か。

北添教育次長

「本の森

図書館」を国の交付金事業で実施するよう計画している。



写真左の山林を購入し、立木を伐採してヘリコプターの離着陸をしやすいとする



舗装が始まった小学校校庭

小学校の舗装工事

藤原俊夫議員

小学校の

舗装工事は、雨の時でもスクールバスに乗るとき、濡れないように屋根の下まで行うのか。

北添教育次長

東の入り口から体育館の前の遊具の所まで、900平方メートルをコンクリート舗装する。校舎と体育館の通路の屋根の下まで行う。

小・中学校の改修工事

西川晃議員

小学校と

中学校の改修工事の内容と中学校給食室の地盤沈下はどうなっている。

北添教育次長

小学校は、

中廊下と体育館のガラスに地震時の飛散防止シートを張る。給食室の空調、トイレ排水の改修、理科実験室の換気扇取り付けなど。中学校は、ガラスの飛散防止シート設置と給食室の床とひさしの改修、空調設置など。

給食室の地盤沈下は、大規模改修で耐震工事をしてから沈下は見られない。

地方整備局の廃止に反対

提出者 山橋正男議員

国の出先機関を安易に廃止すれば、国土の保全や整備に格差が広がり、事業の遅延や維持管理が後退する。高速道路や国道、大規模な河川・砂防施設の機能確保などは引き続き国が行うべきであり、地方整備局や出先事務所の廃止には反対する。

【提出先】内閣総理・総務・財務・国土交通・国家戦略担当の各大臣

燃油減免制度の継続を

提出者 斎藤政広議員

軽油、A重油の減免措置がなくなれば、畜産農家や野菜・園芸農家をはじめ、農漁業経営への影響は深刻だ。

国は、免税軽油の制度の継続とA重油の免税・還付措置を継続するよう強く求める。

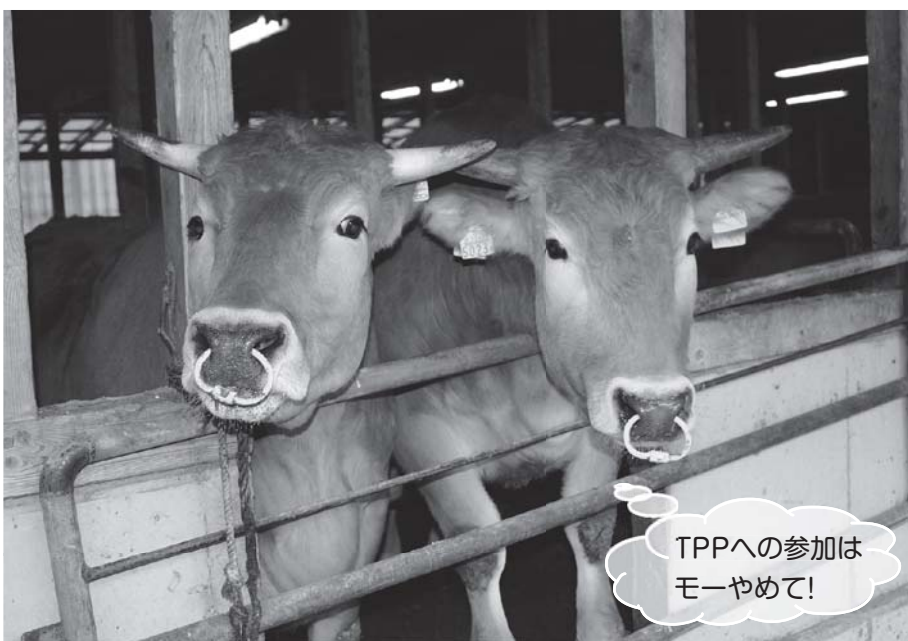
【提出先】内閣総理・財務・経済産業・農林水産の各大臣

TPP交渉の参加に反対

提出者 斎藤政広議員

TPP（環太平洋連携協定）交渉へ参加すれば、すべての農産物関税が撤廃され、わが国の食料・農業・農村に壊滅的な打撃を与えることは明らかである。

【提出先】内閣総理・外務・農林水産・経済産業の各大臣、内閣官房長官



質の高い保育を

提出者 藤原俊夫議員

急激な少子化の進行にもかかわらず、都市部では保育所の待機児童が急増し、過疎地では保育の場の確保が困難になっている。

国と自治体の責任で十分な財源を確保し、すべての子どもに質の高い保育を保障する制度の拡充を求める。

【提出先】衆参両院議長、内閣総理・財務・厚生労働・文部科学・総務・少子化担当の各大臣

じん肺の根絶を

提出者 片岡清則議員

トンネルじん肺は、その多くが公共工事において発症しており、根絶に向けた抜本的な解決が早急に図られなければならない。

政府は、トンネルじん肺根絶と被災者の早期救済を図るため「トンネルじん肺基金」の創設に取り組むことを求める。

【提出先】内閣総理・厚生労働・農林水産・国土交通の各大臣

意見書

12月定例会では、5件を全会一致で可決しました。



寒い冬も保育園児たちは元気一杯

冬休みと春休みの預かり保育

幼稚園の預かり保育について、4月1日から4月6日までと、12月25日から1月7日までを追加する。ただし、12月29日から1月3日は休みとなる。

(23年4月1日施行)(賛成・全員)

学童保育の日時と保育料を改正

学童保育について、第1、第3、第5の土曜日と学校代休日を追加する。

保育時間は、午後5時までを午後5時30分まで延ばし、保育料は、月額3000円を4000円に改める。

(23年4月1日施行)(賛成・全員)

町民税の前納報奨金を廃止

前納報奨金の制度は、個人の町民税の第1期の納期内に全期分を支払った場合に適用されるが、給与や年金から引かれる人は制度の対象とならない。また、資力がなく一括で納められない人などには恩恵がない。したがって、税の納付の公平性の原則に立って廃止する。

(23年4月1日施行)(賛成・全員)

片岡清則議員

前納報奨金の年間の金額は。

片岡税務課長

22年度総額は40万9100円で、報奨金を受けた人は296人。

耐用年数を過ぎた町営住宅の管理

昭和28年度から38年度に建てられた下渡、西ノ芝、鍋ヶ淵、女川、6区、公園(5区)の耐用年数を過ぎた木造の町営住宅について、公営住宅法による管理から町独自の単独住宅に切り替える。

特殊耐火と簡易耐火の長屋構造の住宅も含む。

(23年1月1日施行)

(賛成・全員)

水道施設に消火栓併設の分担金

水道施設の整備事業に合わせて消火施設(消火栓)を併設する場合の分担金は、補助対象事業費から補助金を控除した金額の5分の1とする。

分担金の限度額は受益者1戸当たり10万円とする。

(22年12月16日から施行)

ただし、限度額の規定は22年4月1日から施行)

(賛成・全員)

教育委員の任命

山中弘孝 氏(越知甲) (同意・全員)

山中弘孝氏は、12月24日から教育長に就任。任期は4年。

臨時会 (11月24日)

工事請負契約

- ・町民総合運動場グラウンド施設整備工事
- ・契約額 9187万5000円
- ・契約相手 株高橋組 (賛成全員)

条例改正

職員給与等及び議員期末手当の改正 (賛成8、反対3)

町道認定

- ・四ツ辻線
- 旧法務局から小学校体育館西側 (賛成全員)

総合振興計画

どんな思いで取り組む 安心して住める町づくり／町長

問 平成23年度から10年間の総合的な町づくり計画を策定中だが、町長はどのような思いで取り組んでいるのか。

早く対応すること、保育園・幼稚園を含め子どもたちの教育に力を入れ、良い人材を輩出することだ。

吉岡町長 行政は長い歴史の中でつながっており、今爆弾的なものを出す考えはないが、住民が安心して住める町づくりが目標だ。

そのため基幹産業の農業の振興、人口の定住、医療・福祉制度の変化などにいち

問 本町の観光産業の課題は、食や宿泊、お土産などに使われる外貨の多くがよそに取られていることが一番である。

誘客のためのイベントをたくさんやることは重要だが、観光振興の目的や事業効果等を含む全体像は作成しているのか。

観光関連事業を興したり、多角経営を目指す事業者を育てる考えはないか

小田企画課長

黒瀬キャンプ場のログハウスは、7

10月で321人が宿泊した実績があり、カヌー体験など仁淀川を活用した体験型観光を目指したい。

策定中の総合振興計画の中で、観光産業の位置付けも明確にしたい。

おち駅を中心に増やす

吉岡町長 観光の基本的なものは、「おち駅」を中心に、できる範囲の事業をや

り、徐々に枝を付けて交流人口を増やしていきたい。

宿泊施設については、旅館業者のこともあり、町が施設を造ることは難しい。

人を増やす対策

問 人口減少と高齢化がこのまま進めば、本町は大変なことになる。

町行政や町経済に及ぼすさまざまな影響をどのように予測しているか。

人を増やす対策として、



若い力に期待

IターンやUターンを受け入れる考えはないか。

また、官民協働で取り組む考えはないか。

残れるための施策

吉岡町長 2015年の人口は6016人と激減することを予測している。

この流れを止めることは難しいが、町が進めている水道の整備、山間部の農業用水や消火栓の設置、福祉・医療・道路・ヘリポートなどの整備、お年寄りが使いやすい集会所の整備など、

そこに人が残れるための施策を続けていきたい。

計画している町営住宅は、若者や一人暮らしの高齢者向けのものも検討したい。

Iターン、Uターンの受け入れは反対ではないが、現段階では新たな計画はない。

官民協働で取り組むとすれば、住民が基本になって考えなければいけない。課長会で意見を聞いて結論を出したい。

観光産業

外貨がよそに取られている

仁淀川を使った観光を目指す／企画課長



利用者が多い黒瀬キャンプ場ログハウス



市原静子 議員

細菌性髄膜(ずいまく)炎

ワクチン接種を全額公費で

無料で実施する/住民課長

ヒブ菌や肺炎球菌が原因で、4人に1人が後遺症で苦しんでいる。子どもの命を守り未来を育むため、予防ワクチンの接種を全額公費で実施できないか。

藤原住民課長

ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチンは、国の2分の1の補助で、対象者は0歳から4歳までとなっている。

準備が整い次第無料で実施する。

町広報による意識啓発や個別通知などで、普及促進を図りたい。

問 国内では毎年1000人の乳幼児が、細菌性髄膜(ずいまく)炎にかかっている。



子どもは町の宝

●ヒブ菌(インフルエンザ菌b型の略称)

咳、くしゃみとともに、鼻やのどから血液中に侵入し、全身に広がると髄膜炎や肺炎、喉頭炎などの深刻な病気を引き起こすことがある。髄膜炎は3歳くらいまでの子どもには最も恐ろしい感染症で、初期にはかぜと見分けがつかず、しかも症状が急激に悪化し、抗生剤も十分に効かない例がある。てんかん、難聴、発育障害などの後遺症を残すことがある。インフルエンザウイルスとは直接関係はない。

がん予防

学校での意識の向上を

地域や家庭の理解を求める/教育長



中学生の総合学習(おち駅)

問 がん予防や健康づくりを推進するため、地域と学校、専門家が連携して学校の総合学習で取り組めないか。

西森教育長

がん予防と

いうことは非常に必要であり、体の仕組みや命の尊さの中で、がんに関する指導をしている。

また、子宮頸がんは、欧米では70-90%が検診を受けているが日本は20%と予防への意識が低い。

子宮頸がんの理解も低く、

今後は関係機関と協議して、生徒や家庭の理解を得られるよう検討する。

子宮頸がんの理解と検診の意識を高めるために中学校の教育で取り組めないか。

藤原住民課長

食生活改

善グループが幼稚園や保育園、小・中学校で食の大切

さを啓発している。がん予防や健康づくりは、教育委員会や学校から機会を与えてもらえれば保健師とともに協力する。

中学校まで医療費無料に

問 昨年の10月に小学校卒業まで医療費の無料化をしたが、子育て家庭の経済的負担は大きい。

中学校卒業まで無料にできないか。

23年度から実施

藤原住民課長

23年度から無料化する。

そのためのシステム改修費を予算計上している。3月議会には、条例改正と必要な経費を計上する。

その他の質問

問 有害鳥獣の対応策は。

答 猟友会の捕獲や電気柵の助成で成果は上がっている。

教育問題

幼児期からの英語教育を

ALTが先行して実施／教育長



高橋文一 議員

問 新学期から始まる小学校5、6年生を対象にした英語教育について、教育委員会で具体的な対策を議論していると思うが、どのように取り組むのか。
また、保育園、幼稚園で英会話を始めてはどうか。



ALTと楽しい英会話（幼稚園）

西森教育長 県の指導によって総合学習の場で活動するようになってい

る。コミュニケーション能力を育成するため、聞く・話す・慣れることを重点に行う。

小学校には英語の先生がいないが、先行して2人のALTが交代で実施している。

吉岡町長 子どもの基本的な性格や知能は3歳までに作られるとのこと、通常の行動や遊びの中で英会話は非常に大事と思う。

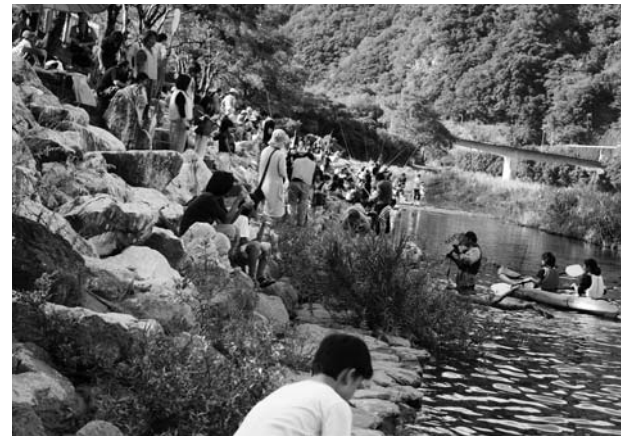
新たに雇用するには費用も掛かるので、慎重に検討したい。

●ALT（外国語指導助手）

小中高校などの英語教育で、日本人教師を補助する。
国の外国青年招致事業で、英語圏の大学を卒業した青年を招いている。
主に米国やオーストラリア、ニュージーランドなどから招いている。

河川敷の利用は

キャンプやカヌー遊び／企画課長



コスモスまつりでは、釣り堀やボート遊びも好評

仁淀川

問 河川の利用について、国交省は23年度から民間開放などの規制緩和をする方針だが、本町はどのように対応するのか。

また、宮の前公園はどうなっているのか。

町内には6カ所のキャンプ場もあるので、カヌーやボート遊びなどで仁淀川を町内外の人に利用してもらおうよう、観光協会を通じてアピールしていきたい。

占用許可は知事

小田産業建設課長 規制

緩和による民間開放は、最終的には県知事が許可をすることに

なる。観光協会との活動に支障があるような許可は出さないよう県に提言する。

誘致企業の閉鎖の恐れは

問 四国部品株との契約内容と従業員数はどうなっているか。

また、車のメーカーが製造工場を海外に移した場合、仕事がなくなり閉鎖に追い込まれる恐れはないか。

大切な企業であり支援していく

大原総務課長

ピーク時は300人で町内の人人は150人だったが、現在は96人で町内の人人は36人となっている。

土地の賃貸料は、当初700万円だったが、その後490万円になり、さらに現在は350万円となっている。

円高に伴うコスト競争で経営状況は厳しいが、会社従業員も頑張っており、町としても大切な企業なので支援していきたい。

10年くらいで済ませないか

地籍調査

完成には32年掛かる見込み
／産業建設課長



齋藤政広 議員

問 地籍調査の進捗状況と完了予定は何年を見込んでいるか。

今後は、高齢化が進み、境界を知る人が少なくなりますが、班を増やしてスピードアップを図り、10年くらいで済ます予定はないか。

小田産業建設課長

進捗状況は、20年度末で15・7%、22年度末で21・5%となる予定で、ほぼ計画どおり進んでいる。

平成21年度から高齢化が進む地区を重点に取り組んでいるが、あと32年掛かる見込みである。

班を増やすことは職員数も減っており難しい。

吉岡町長 他町村に比べ遅れている。

スピードアップは、職員数や財源の問題もあるが、内部で協議したい。



未舗装が多く残る町民会館駐車場

町民会館

駐車場の舗装の拡張を 安い工法で実施を検討／町長

問 町民会館は、各種イベントなどで、多くの利用者のある施設だ。

いるが、舗装を拡張できないか。

現在の駐車場は未舗装部分が多く、雨天などはぬかるんで歩くのに難儀をして

いるが、ほとんど利用されていないテニスコートの有効活用を考える時期ではないか。

吉岡町長 総面積は4700平方メートルで、概算事業費は2400万円だが、もう少し安く実施できるように検討する。

テニスコートの活用は早急に検討したい。

防災行政無線を 立派なものに

問 防災行政無線の改修計画は進んでいるのか。

南海地震の災害に備える大切な施設なので、将来に向けしっかりとした施設にしてもらいたい。

また、町内（市街地）で聞き取りにくい場所があると聞くが、十分な調査をして、実施してほしい。

その他の質問

問 新成人の集いは対象者が減り、家族が多くなっているが、席の配置を工夫できないか。

答 少人数なりの配置を検討する。

緊急地震速報に対応

大原総務課長

22年度に実施設計、23年度完成を見込んでいる。

町内全域の電波調査は終了した。

10年以内の完成を目指す／町長 早期整備の取り組み



昨年8月の巨岩崩落から片側交互通行で復旧されている国道33号



片岡清則 議員

一般質問

問 国道33号「越知道路」の早期整備について、国交省との意見交換の場を得て、2人の担当者から説明を受けた。

その中で、事業予算も大変厳しくなっており、「越知道路」は当初計画ではかなりの事業費が掛かるので、現道の安全対策をして整備

すれば、10年くらいで完成でき、トンネルや橋の工事ではないため地元業者も参加できるとのことであったが、どうなるのか。

また今後は、議会と行政が一体で、せめて年に一度は国や国会に要望活動をするべきではないか。

吉岡町長 「越知道路」の横倉から小浜間は橋とトンネルで変更はないが、旧ドライブインから野老山間は、コースを一部変更した方が10年以内で完成できる可能性があり、変更も考えられる。

年間を通じて、国や地方整備局、国会議員へ何度も要望活動を行っており、やつとめどが立つように感じている。議員とも同行して声を聞いてもらうようにしたい。

東京銀座「まるごと高知」

越知で売るより数倍の値段

審査に受かることが条件 ／産業建設課長

小田産業建設課長 アンテナショップに出すには、県の事前審査に受かることが必要となる。

吉岡町長 沖縄館は商品の陳列もよく見えて広い。行事も外でやっている。高知店は店が狭く限られた利用しかできない。

越知で500円の「ひがしやま」は、おそらく3000円くらいになると思う。知事からは、各地域の加工食品の開発を急ぐよう指示もあっており、何とか知恵を絞って審査を越えられるようにしたい。

岡副町長 「まるごと高知」は隣の沖縄館に比べ見劣りすると感じた。職員や生産者にも行ってもらうって、加工品などを考えてもらいたい。

小田企画課長 加工品は、産業振興計画で高く位置付けされており、越知らしい加工品を考えて実現できるよう努力する。

今成と中大平の水道

問 今成地区から上水道延長の陳情があり、議会では採択している。

また、中大平地区の集落水道が水不足で困っている。高齢化で取水口の管理も大変な状況だ。実施の見通しはないか。

23年度から手掛ける

山本環境水道課長 今成

地区は、9月定例会で過疎計画に入れて議決された。23年度に事業認可を受け、国庫補助金と簡易水道事業債を利用して24年度から工事を実施したい。中大平は、年内に測量をして、23年度には実施できる。

防災訓練

消防団・自衛隊・住民との訓練

県訓練で越知へリポートがサブ会場／町長



寺村晃幸 議員

問 近い将来予測される南海地震や大規模災害を想定した自衛隊と消防団、住民参加の防災訓練を実施できないか。

吉岡町長 課題もあるが、なるべく早い時期にやりたいと考えている。

県からは、23年度高知県総合防災訓練のサブ会場として越知へリポートの使用要請があつている。

各市町村と連携した孤立地域の対応訓練を、ヘリコプターを使って実施することであり、まずこの訓練に協力したい。



消防団が国交省水防演習に参加

交通安全対策

片岡手前に信号機を現状では困難／総務課長



解決は早期改良

問 県道伊野仁淀線の片岡地区手前の道路狭小区間は改築工事も計画されているが、完成までは相当の期間を要すると思われる。

交通安全対策として、現在の表示板方式をカウントダウン式の信号機に変更できないか。

大原総務課長 県とも協議したが、現状では信号機の設置は困難である。

表示板が見えにくかったり、表示を無視して進入するドライバーもいる。モラルの問題もあるが、表示を見やすい場所に変えるなどの改善を要請したい。

TPP参加は

問 政府は、環太平洋連携協定（TPP）に参加を検討しているが、日本の農林業に壊滅的打撃を与えかねない。

農業が基幹産業である本町にも深刻な影響が出ると思うが、どう考えるか。

唐突で賛成できない

吉岡町長 あまりに唐突で賛成できない。

各農業団体や全国町村会、

各町村議会などで、TPPに関する緊急決議や交渉の参加に反対する意見書を可決している。

日本の農林水産業を崩壊させるTPP参加は反対だ。



TPP参加は農業に深刻な影響

●TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）

貿易自由化を目指す経済的枠組み。工業製品や農産品、金融サービスなど加盟国で取引される全品目の関税を100%撤廃しようとするもので、2015年までに実現を目指して協議を行っている。

現在の加盟国はシンガポール、チリ、ブルネイ、ニュージーランドの4カ国で、オーストラリア、ペルー、アメリカ、ベトナム、マレーシアが参加を表明し、新たな枠組みの合意に向けて交渉している。

横畠小廃校反対陳情を不採択

総務教育常任委員会6人(委員長 藤原俊夫)は、陳情1件の審査と所管事務調査4件を11月24日に行いました。

陳情

横畠小学校廃校に反対

敗戦直後の横畠村は財政力が弱く、横畠小学校は村と校下民が協力してできた学校であり、公平に気軽に親しめる場所として残してもらいたい。また、学校廃水路の復旧を放置して住民に迷惑をかけており、さらに宿泊施設にして排水を流すことは許されることではない。

陳情者 横畠中 片岡哲雄

委員会の審査

9月定例会で審査を付託され、11月24日に審査を行った結果、22年3月定例会の委員会の調査報告を踏まえ、休校扱いの状態では教育施設としての制約等があり、閉校(廃校)措置を行い、広範囲な活用を検討することが適切と判断し、全会一致で不採択と決定し、12月定例会で報告。

12月定例会

委員会の審査報告を受け、審議の結果、全会一致で不採択と決定。

越知ヘリポート

地域の心強い存在

越知町消防団員の協力などで、夜間照明を備えたヘリポートが完成した。本年度は、宮の前公園が6回使われており、県のドクターヘリが導入されれば、ヘリコプターの使用はさらに増える。地域にとって、越知ヘリポートは心強い存在になる。



ヘリポートは、けが人や急病人の緊急搬送に効果を発揮

町民総合運動場

FD練習試合が可能

高知ファイティングドッグス(FD)の使用に関連して、備品購入や防球ネットの設置が進められ、本年度は1、3塁側防球ネットやバックネット、内野の土の入れ替え、ダッグアウト、スタンド整備などを行う。総事業費は約1億3700万円。

練習試合もできるようになり、FDの来季の活躍や住民との交流がより深まることを期待する。

3区公営住宅用地

進入路を広く

3区に計画する町営住宅は、進入路は救急車や消防車が楽に入れる道幅とし、周辺環境も考えて計画すること。また、高齢者住宅等の併設も検討が必要だ。

今成グラウンド

周囲に防球ネット

地上高8メートルの防球ネットを約145メートル設置している。フェンスやトイレには鍵をして施設の管理や安全性が向上している。今後とも、生徒たちが安心して使える環境を整えることを望む。



環境が整う総合グラウンド

効率的で有効な道路整備を

産業建設常任委員会6人(委員長 岡林学)は、11月25日に4件の道路工事などを視察調査しました。

今成深瀬線局部改良

**安い工法で
個所を増やせ**

柚ノ木から小浜間で5カ所を改良し、不便さが解消しつつある。本路線は総延長が長いため、今後は、補助対象の条件や現地状況にもよるが、もう少し安価な工法で施工延長や個所数を増やすことを求める。

山室線改良工事

吹き付け個所に注意

22年度は、工事中に山側が崩壊し、その復旧を含めて約1600万円増額している。モルタル吹き付け個所は、一部に亀裂が見られたので、経過観察が必要である。また、補強金網はモルタル厚さの中間に配置するよう注意すべきである。

日ノ浦イベント広場

一帯はきれいな環境

あじさい祭りなどの活発な活動に、行政の支援も手厚く有意義な事業である。広場は、様々なイベントや駐車スペースに活用でき、地域と来訪者の交流に生かされると期待する。周辺一帯はきれいに清掃され、トイレも清潔で、住民が地区を大切にしていることを感じた。

鎌井田桑藪線

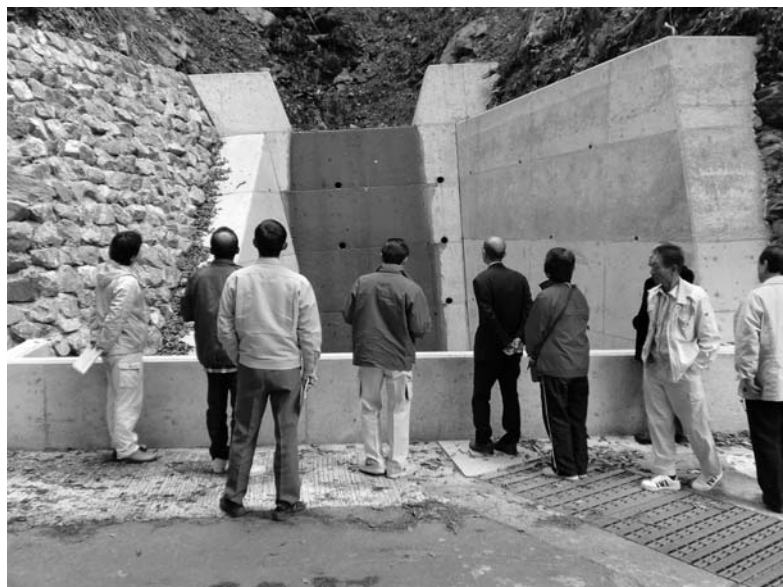
土砂流出を防ぐ

雨のたびに山からの土砂が路面に流れるため、山側に谷止め工事(大きな柵(ます)に土砂をためる)を行っている。

時々、土砂の取り除きが必要だが、路面への影響は解消された。同様の個所にも施工できると思う。

総括的な意見

道路整備は住民生活に直結する課題であり、今後も国の交付金や補助金を有効に使い、現地状況に見合う効率的な工法で早期整備を期待する。



京塚で実施した谷止め工事



局部改良で車の行き違いが楽に



モルタルの亀裂に注意が必要

あれはどうなっちゅうが？

町民プールの修繕を (平成21年6月議会)

藤原俊夫議員 町民プールは自慢の施設だが、大変傷んでいる所があるが、修繕できないか。

状況を見て適切に対応

教育次長 老朽化しており、更衣室やトイレは7月のオープンまでに修繕する。全体の改修は財政や利用状況を見て適切に対応する。

処理状況

老朽化が著しい

トイレなどは一部修繕しているが、まだまだ不十分である。

プールサイドも老朽化が著しい。

改善には相当の費用が必要と思うが、安全に楽しく使えるプールが望まれる。



子どもたちの使用には不安

議員視察研修

埼玉県ときがわ町の 議会改革を学ぶ



会での一般質問の回数制限をやめ、執行部側の反問権を認め、議員間の自由討議を実施するなどの議会改革を進め、議会主催の住民に対する議会報告会や懇談会なども行っている。

地方分権時代を迎え、少子高齢化問題や産業振興策など、地域の課題が多い中で、議会の役割や責任がますます重くなっており、全国的に議会改革の取り組みが広がっている。

11月18日に埼玉県ときがわ町議会を訪問し、議会改革の取り組みについて、視察研修を行った。

ときがわ町は、人口約12800人、総面積は55.8平方キロで、埼玉県中部に位置し、70%が山林を占めている。

平成20年3月に、議会・議員の活動を明文化した「議会基本条例」を制定し、議

本町議会も、研修で得た成果を生かして従来の議会運営を見直し、町民に信頼される開かれた議会の実現に向け、積極的に改革を進めなければならない。

広域議会

定例会(12月3日)

職員給与条例の改正

期末手当の支給割合と勤勉手当の支給総額の算出割合を引き下げ、給料月額を引き下げた。

火災予防条例の改正

複合型居住施設用自動火災警報設備を関係省令の基準で取り付けた場合は、住宅用防災警報器等を設置しないことができる。

12月補正予算

区分	補正額	総額	
特別会計	特別養護老人ホーム	910万円	12億8275万円
	養護老人ホーム	63万円	1億2014万円
	知的障害者更生施設	△6万円	1億6370万円

議会です
さんには

陶芸とおしゃべりで 笑いが絶えない



町民会館で陶芸を楽しむグループにお話を聞きました。
昭和60年頃に町の募集が始まりで、現在は当初から続けている大原正枝さん、渡辺利香さんを中心に14人くらいのメンバーが火曜日と土曜日の2回に分けて行っています。
以前は、女流展や内原野などへ出品のため、大きな壺や花瓶の製作に力を入れていたそうですが、最近では文化祭への出品と部は「おち駅」に置いていくようです。
『今は作るだけでなく集まって作品をネタにワイワイ話すことが楽しみ』と述べられほとんどは自宅に飾ったり知人に譲るなどしています。

ユニークな作品たち



町が備えた窯(2基)を使い、材料費と窯のガス代を負担しているが、『作業室に水道がないので不自由しゆう』とのことでした。
『初心者教室はやってないけど、男性が少ないので歓迎するよ』とのこと。本気でやりたい人は教えてもらえそうです。
冗談か本気なのか、骨董の作品には驚きと大笑いでした。『自分が入るのか、またはご主人でしょうか...。楽しい取材に時間が経つのを忘れるほどでした。本紙も目を通していただいているようで、これからも個性的な作品を期待します。』

窯入れを待つ



次の定例会は3月です。12月定例会の傍聴者は7人でした。多くの方の傍聴をお願いします。

編集後記

毎年1月3日の「新成人の集い」では、いつも参加者の動向が気になるが、今年の新成人には驚かされた。
名前を呼ばれた時、ほとんどの人が大きな声で「はい！」と返事をする。影響を受けた来賓も元気に「はい」と答える。
その雰囲気最後まで続き大変な盛り上がりで、今までにはない光景が記憶に残った。
最近は大勢の家族や親せきの方々も参加しており、成長した新成人を見て感激したことだろう。残念なことは年々対象者が少なくなっていることだ。
議会も改革を目指して新たな一歩を踏み出した。子どもたちのために、しっかりと記憶に残る「まちづくり」を進めなければならぬ。『斎藤』

編集・発行責任者

議長 岡林幸政

議会広報調査特別委員会

委員長 岡林学

副委員長 斎藤政広

委員 武智龍

委員 高橋丈一

委員 市原静子

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。